



夏季一時金闘争（終報）

闘争分会妥結額平均では昨年実績を上回る結果に

速報分会 妥結額平均、480、912円

闘争分会 妥結額平均、475、488円

夏季一時金交渉が概ね妥結となった。第8回中央執行委員会においてこれまでの経過を確認し、20夏季一時金闘争としては区切りとすることが確認された。最終報告は以下の通り。

7月16日現在、速報分会では、157分会中137分会（87%）に有額回答が示され、速報分会の回答額平均は474、125円、妥結した分会は131分会で妥結額平均は480、912円となった。昨年の妥結額実績486、518円を5、606円下回る結果となった。

全闘争分会では、315分会中252分会（80%）に有額回答が示され、闘争分会の回答額平均は465、357円（1.60ヶ月）となり、昨年同時期を9、011円下回った。回答を受けた分会のうち236分会（94%）が妥結し、妥結額平均は475、488円となった。昨年の妥結実績463、192円を12、296円上回る結果となった。

職種別でみると、港湾の回答額平均は491、356円（昨年同時期を6、059円下回った）、トラックの回答額平均は348、163円（昨年同時期を21、897円下回った）、一般の回答額平均は368、352円（昨年同時期を30、994円下回った）となった。

港湾関係の回答状況

検数労連	全日検	7月6日	383、945円+α	妥結
	日検	7月6日	455、093円+α	妥結

他団体の回答状況

連合の7月6日付けの最終発表では加重平均で655、452円（前年実績マイナス44、233円）となった。

国民春闘共闘の7月14日付け第3回発表では加重平均で612、395円となっている。

以上